

私たちの祈りの場所は…

行橋小教区・豊津カトリック教会の信徒の先祖は長崎県五島列島からの移住者が多く、当時未開拓であったこの地を苦勞して開墾し、飢えをしのぎながら毎日の農作業に明け暮れていたそうです。

少しずつ信徒の数も増えてきたので、1950年に当時の新田原教会のポネ神父が一軒の民家を仮教会として購入し、ミサが捧げられるようになりました。まもなく60年になります。

その後、新田原教会の巡回教会となりましたが、1955年に行橋教会が出来ましたので、行橋教会の巡回教会になりました。また近くの小学校の解体古材などを譲り受け、大人から子どもまでがコツコツと出来ることを協力しながら信徒全員で手作りの教会を完成させました。

現在、約60世帯200名ほどの信徒数ですが、2000年の創立50周年を機に、子どもからお年寄りまで大勢が集まる教会を目指し、新聖堂建設をはじめさまざまな取り組み

生き生き共同体

紹介

豊津教会

みをしてきました。例えば月に一度の「子どもと共に捧げるミサ」では若者たちのバンド演奏で聖歌を歌い、主日のミサでは中学生の三人の女子が交代でオルガンを弾いて、一つのミサを作り上げるなど、若者たちの活躍の場が増えてきています。

また、年配者の方々でつくる「ザビエル会」は定期的な除草作業やミサ前後の祈り、結婚式や葬儀の準備などの奉仕をして下さっており、青年らでつくる「サンクトウス」はソフトボールを通じて地域交流や教会行事の手伝いをするなど、それぞれが自分たちの「祈りの場所」である、この豊津教会の発展のため、また神様の御心にかなう教会となるよう日々活動しています。

これからも皆が集う開かれた教会づくりを目指して、さらに努力していきたいと思えます。こんな教会ですが、近くにお越しの際には、ぜひ遊びに来てください。信徒一同心よりお待ちしております。